

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	新潟工業短期大学	整理番号	2-4-008
応募テーマ	主として学生の学習及び課外活動への支援の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	学力が不足する学生のための支援活動		
申請単位	学科単位		
申請担当者	峯山 晴紀		
(取組の概要)			
<p>新潟工業短期大学自動車工業科の入学志願者の主たる目的は、二級自動車整備士国家資格取得にある。しかし、本学は小規模校であり、入学志願者数は景気動向に左右される。また、近年の18歳人口の急減や若者の工学離れの社会情勢の中で、学力不足をはじめ多様な学生を受け入れざるを得ない。</p> <p>このため本学では、学力が不足する学生を支援するため、入学内定者に「入学前ゼミナール」、入学時に「基礎学力調査」、入学後は「補習授業」、「国家試験対策模試及び補習」などを実施している。</p> <p>また、「イントラネットによる出欠調査システム」を構築し、全教員が学生の授業の出欠をリアルタイムに把握して適時の指導に力を入れている。</p> <p>さらに「学内奨学制度（学費の一部減免）」を設け、学習意欲の向上や女子学生の志望の助長を図るなど、経済面からの工学教育の支援も行っている。</p>			
(採択理由)			
<p>学生像の変容は、新潟工業短期大学のみならず、全国的規模で多くの大学・短期大学に共通して見られる現象です。とりわけ学力不足や学習意欲の減退は、深刻の度合いを増しているところが少なくなく、この取組による学生たちの変容ぶり・改善ぶりは、公開性を持つものと考えられます。入学生数の推移や国家試験合格率の推移、退学率の推移を見ながら、学習支援・生活支援の方法を具体化していった手法は他校でも参考になるでしょう。また基礎学力調査や学内模擬試験の分析を通して成績状況報告書を作成し、学生の学力に対する共通認識を持つとともに、教員相互が教育評価の現状を報告し合うという姿勢は、真摯な教育改革の取り組みとして公開性に値するものと評価します。</p>			